

第3回 東京理科大学総合研究院合成生物学研究部門シンポジウム

日時：2022年3月11日（金）14時から18時40分まで

シンポジウム開催形式：ZOOMにて開催

14:00-14:10 開会の挨拶 伊川友活（東京理科大学・生命医科学研究所）

セッション1：合成生物学・植物、微生物（座長：松永幸大）

14:10-14:40 「塊根を作らない植物を用いた塊根形成メカニズムの理解への挑戦」
坂本 卓也（東京理科大学・理工学部・応用生物）

14:40-15:10 「他種生物由来のオルガネラ獲得」
前田 太郎（慶應義塾大学・先端生命化学研究所）

15:10-15:40 「合成ヒトセントロメア由来配列を利用したクロマチン操作技術」
大竹 興一郎（かずさDNA研究所・先端研究・染色体工学）

15:40-16:10 「バイオ x デジタルの技術融合によるスマートセル創出と低炭素化技術への応用」
蓮沼 誠久（神戸大学・先端バイオ工学研究センター）

16:10-16:30 休憩

セッション2：合成生物学・生命医科学研究への応用（座長：伊川友活）

16:30-17:00 「細胞間コミュニケーションの設計による多細胞パターンのデザイン」
戸田 聡（金沢大学ナノ生命科学研究所）

17:00-17:30 「リン脂質による上皮性の制御」
中村 由和（東京理科大学・理工学部・応用生物）

17:30-18:00 「エピジェネティクス修飾によるCAR-T細胞の改良」
籠谷 勇紀（愛知県がんセンター・腫瘍免疫応答）

18:00-18:30 「生命の連続性を担う、生殖細胞のエピゲノム形成機構」
前澤 創（東京理科大学・理工学部・応用生物）

18:30-18:40 閉会の挨拶 松永幸大（東京大学大学院・新領域創成科学研究科）